

令和 7 年度

## 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.20
課名	環境農林課
グループ名	環境保全グループ
記入者名	

## 1 事業概要

(1)事業名	し尿処理事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	快適な環境のまち(生活環境の整備)	①会計区分	一般会計		
②大項目	下水道	②財源区分	町単独		
③中項目	し尿処理施設の維持管理	③予算科目	款 4 項 2 目 3		
④施策	し尿処理施設の維持管理	④予算事業名	し尿処理事業費		
⑤施策コード	4.2.6.1	掲載ページ	71	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託) 自治事務	①総合戦略	無			
②根拠法令・条例等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	(該当事業名)				
③事業期間 開始 不明 年 月から	終了	未定 年 月まで			

## 2 事業の目的・内容等

(1)目的(何のために行うか)	(2)内容(どのような取り組みか)
し尿及び浄化槽汚泥の安定的な処理を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金の支出</li> <li>・老朽化施設の修繕</li> <li>・施設設備の点検</li> </ul>
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
町民(合併・単独浄化槽、汲み取り、農業集落排水)	し尿及び浄化槽汚泥の安定的な処理を継続させる

対象数 14,173 単位 人

## (5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

下水道接続及び浄化槽敷設世帯が増加し、汲み取り世帯は減少している。

下水道接続世帯増加に伴い、処理量は減少傾向にある。

## (6)SDGsへの貢献



## 3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

項目 名称	し尿処理事業費					
	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6 年度)決算	今年度(R7年 度)当初予算
(2)事業費						
報酬	0	0	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0	0	0
需用費	0	0	0	0	0	0
役務費	0	0	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0	0	0
その他	64,263	53,025	72,147	67,852	70,722	
内訳 直接事業費合計	64,263	53,025	72,147	67,852	70,722	
(3)財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0	0	0
内訳 一般財源	64,263	53,025	72,147	67,852	70,722	
合計	64,263	53,025	72,147	67,852	70,722	
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数	1	1	1	1	1	1
年間人件費	7,628	7,542	7,521	7,772	8,032	
(6)総事業費	71,891	60,567	79,668	75,624	78,754	
サービス量(人)	15,777	15,300	14,994	14,173	14,173	
サービス単価	4.6	4.0	5.3	5.3	5.6	
(単位)	千円/町民1人当たり					

4 指標の検証		し尿処理事業費			
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)					
指標名	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)					
指標名	共同処理事務件数(総振目標指標p 116) R8年度目標値 18件	目標値	件	18	18
	実績値	件	19	19	X
	達成率	%	105.6	105.6	X
	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
(3)その他指標に現れない成果					
農業集落排水処理施設から発生する汚泥についても処理している。					
5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他( )
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他( )
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他( )
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他( )
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他( )
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他( )
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他( )
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)					
処理施設の老朽化や合併処理浄化槽の普及により、し尿及び浄化槽汚泥の処理量や性状が変化してきているが、日々搬入される汚泥量の調整(平準化)や施設の運転等に工夫を加えながら安定的に処理できている。					
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	評価	評価についての説明			
(1)一次評価 (担当課長)	2 現状維持	引き続き小川地区衛生組合で処理を継続する。			
(2)二次評価 (政策推進課長)					
(3)最終評価 (町長)					